

「第41回 石川の農林漁業まつり」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター金沢水源林整備事務所

10月5日(土)～6日(日)に、金沢市の石川県産業展示館4号館で開催された、「第41回 石川の農林漁業まつり(主催:石川の農林漁業まつり実行委員会)」に参加しました。

本イベントは、農林漁業が果たす公益性の高い役割について、県民の理解を深めるための機会となるよう、行政と関係機関が一体となって毎年開催されているものです。

金沢水源林整備事務所では、水源林造成事業の意義や森林の持つ公益的機能等をPRする機会の場として、平成25年から当イベントに参加、出展を行っています。



当展示ブース

当事務所の展示ブースでは、水源林造成事業等の各種パネル展示のほか、毎回恒例の「樹木名あてクイズ」、また、輪切りにした「アテ(石川県の県木)」や「サクラ」等を材料に、「木のペンダント工作」を企画し、ご家族連れを中心に、幅広い年齢層の方々に多数参加いただきました。

【2日間の延べ参加者数10万人(イベント全体推定)】

ペンダント工作は盛況で、参加された皆さまが、それぞれに異なる木目・手触り・香り等確かめながら、モミジ、イチヨウ等のシールを貼り、思い思いに絵付けをするなどして楽しんでいる様子が伺えました。

今後も、イベントへの参加をはじめ地域の交流活動の場に積極的に参加し、水源林の持つ役割や重要性について、理解が広がるよう取り組んでまいります。

【参加出展内容】

- ・水源林造成事業等の紹介(パネル・写真展示)
- ・樹木名あてクイズ(木への漢字当てクイズ)
- ・木のペンダント工作
- ・事業の概要(パンフレット)の配布



ペンダント(見本)



展示ブース内(パネル・写真展示・ペンダントづくり)



難しいかな?(樹木名あてクイズ)